

問 43 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

小学生や中学生のころは、友達とお小遣いこづかの話をよくしました。仲のよい友達と、ひと月のお小遣いがいくらぐらいなのか、親からもらうお小遣いには何が含まれるのかを話したりしました。お互いに情報交換することで、親にお小遣いの額を増やしてもらえるよう交渉こうしやうする材料をそろえたものです。(中略)

高校生や大学生になってアルバイトを始めると、親からもらうお小遣いの話ではなく、自分の職場の時給や、ひと月に稼かせぐアルバイト代について話すようになります。同じコンビニのアルバイトなのに、友達のところが自分よりも時給が高かったりすると (A)。時給が高くても、肉体的につらいアルバイトや、深夜から朝にかけてのアルバイトだと、そこまでしてお金を稼かせごうとは思わなかったりもします。(中略)

しかし会社しやうしやくに就職すると、突然、お互いの給料やボーナスの話をしなくなります。どうしてなのでしょう。僕は三つくらい理由があるのではないかと思います。

一つ目は、同じ年齢なのに給料の差がかなり大きいからではないでしょうか。月給とボーナスを合わせると年間で数十万、場合によっては数百万円の差が出てしまうことも珍しくありません。もちろん、それだけの成果をあげていたり、たくさん残業したりしているのかもしれませんが、みんな自分の会社で一生懸命けんめいに働いているわけです。それなのに、友達と給料の額がすごく違っていたら悲しいし、腹が立つかもしれません。

二つ目の理由は、アルバイトのように簡単に仕事を替かえるのは難しいということです。どんなに友達の会社の方が給料が高いという話を聞いても、その会社にすぐ転職できることなど稀まれだからです。(中略) それに、給料が高いからとか、友達が働いているからという理由で転職するような人を雇う会社もありません。もっとよい会社を見つけたら、やっぱりそちらに転職してしまう人を雇いたいとは思わないでしょう。

三つ目は、お金によって友情が台無しになるのが怖いからです。これまでは持っているお金の額もそんなに違いがないわけですから、どこへいっても*割り勘わりかんだったりします。友達があなたを遊びあそびに誘うときだって、どこで何をするかなんてそこまで気を遣つかいません。しかし、もらっている給料があまりにも違うことを互いに知ってしまったら……。どんなに一緒だったら楽しいと思っても、相手の気持ちではなく、相手の*懐ふところを気にして誘えなかつたりしてしまいます。これまで築いてきた人間関係を壊こわしたくない、だからお金に関するプライベートな話はできるだけ避さけるようになるわけです。

(工藤啓『16才のための暮らしワークブック』主婦の友社より)